

<調査概要>

■対象モニター

●長子が0-3歳の世帯1167世帯と、第1子妊娠中の世帯133世帯。合計1300世帯。
(調査対象はパパ、ママ、ブレパパ、ブレママ)

●子供年齢による世帯数内訳

- プレママ世帯 133世帯
- 0歳児世帯 333世帯
- 1歳児世帯 351世帯
- 2歳児世帯 367世帯
- 3歳児世帯 116世帯

●ママ年齢による世帯数内訳

年齢区分	サンプル数		合計
	ママ	ブレママ	
20-24歳	71	3	74
25-29歳	342	46	388
30-34歳	487	57	544
35-39歳	230	22	252
40歳以上	37	5	42
合計	1167	133	1300

- エリア：全国
- モニター期間 2010年8月～2011年7月（1年間）
- 実施可能な調査手法
 - 定量調査/フォーカスグループインタビュー/ホームユーステスト/日記調査

■ 第1回調査概要

- 調査実施期間：2010年7月27日（火）～8月2日（月）
- 調査方法：ネット調査
- 調査項目：パパの家事・育児関与について/出産・育児情報収集・発信について/衣・食・住・衛生・教育・育児資金などへの関心度/育児用品の利用メーカー・ブランド/子ども手当について/その他

〔第1回調査結果のポイント〕

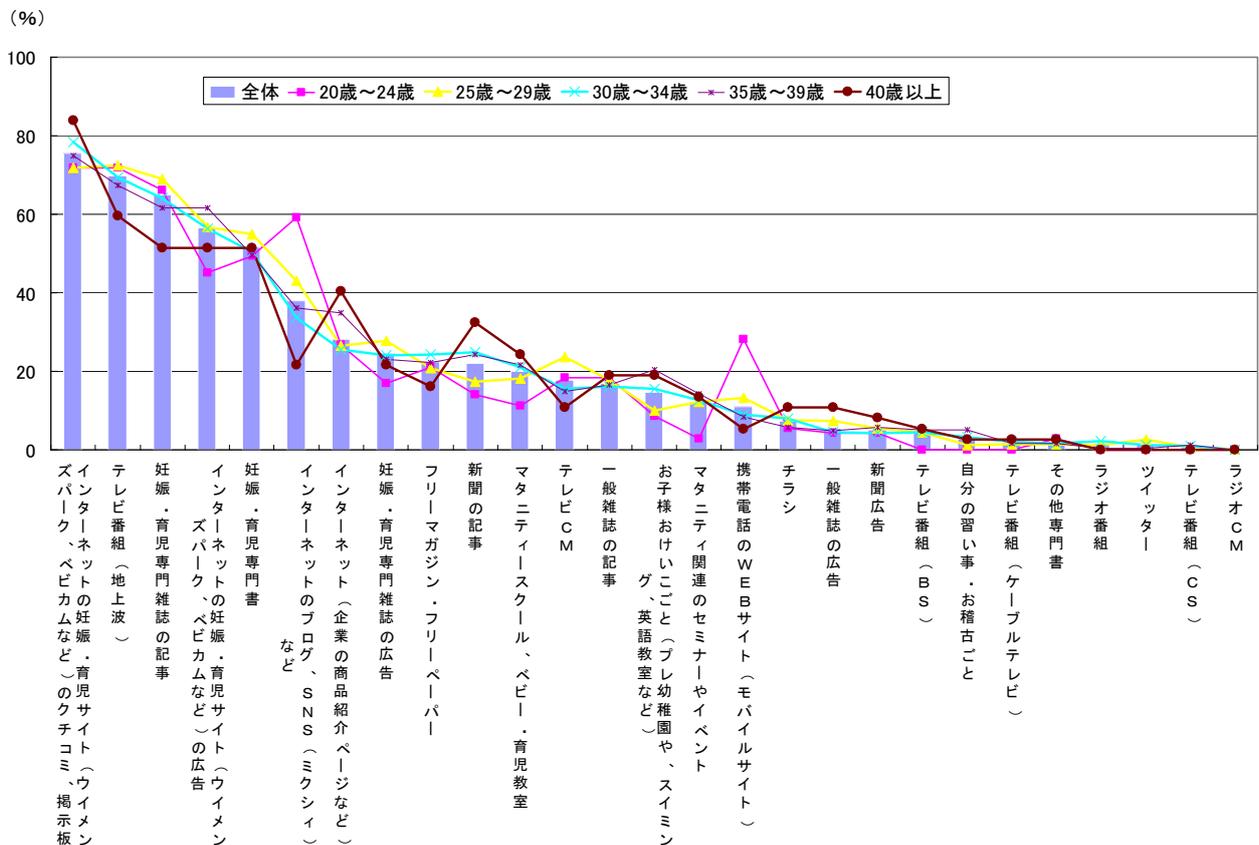
- ソーシャルメディアも活用。これからの乳幼児ママの情報収集メディアに変化の兆し。
- 平均 88%！高い「イクメン」認知度。ママがパパ（夫）のイクメン度を採点。平均 66 点は高得点？！

■ 子育て情報の情報源について

20代前半の若いママは、モバイルサイトを使った情報収集に積極的で、ブログやSNSなど、ソーシャルメディアも活用している。

ママたちの情報収集メディアとしてはWEBの妊娠・育児サイトのクチコミ、テレビ番組、育児雑誌の利用率は世代にかかわらず高くなっています。若い世代のママに特徴的なのはブログ・SNSやモバイルサイトの利用が他の世代に加えて高くなっていることです。これからの育児世代は、育児情報収集メディアも変化していくことが想定されます。

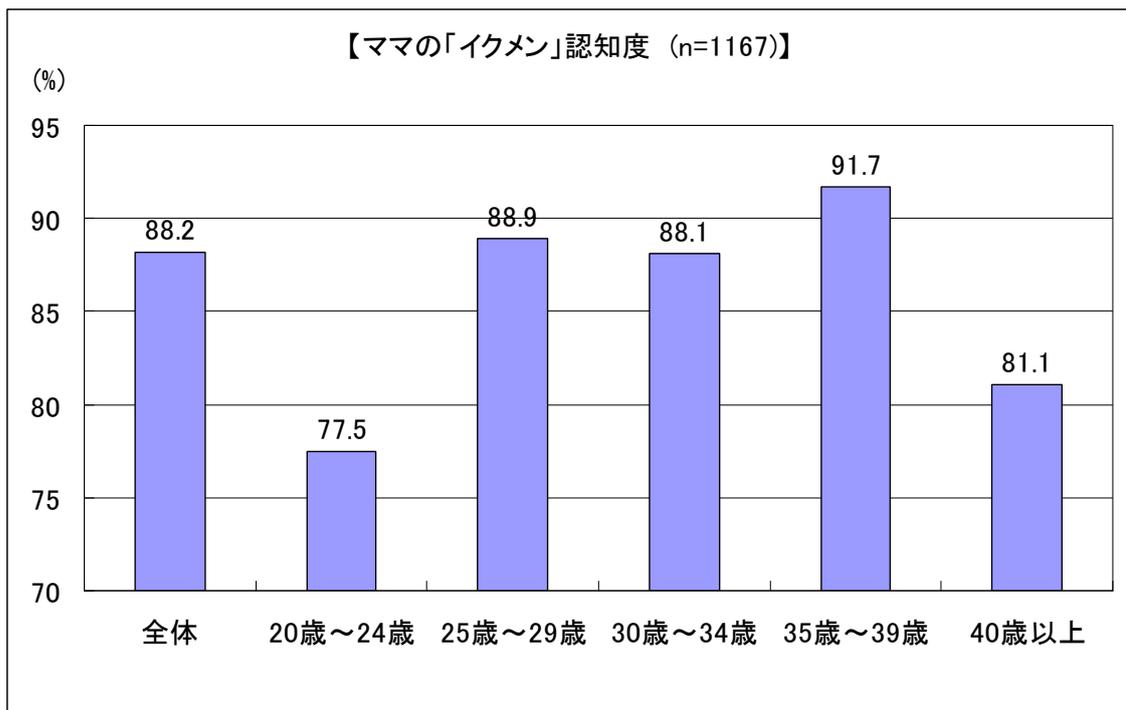
【ママが育児情報を収集するメディア(n=1167)】



■イクメンの認知度

「イクメン」という言葉の認知度を尋ねたところ、30代後半のママでは9割を超えました。

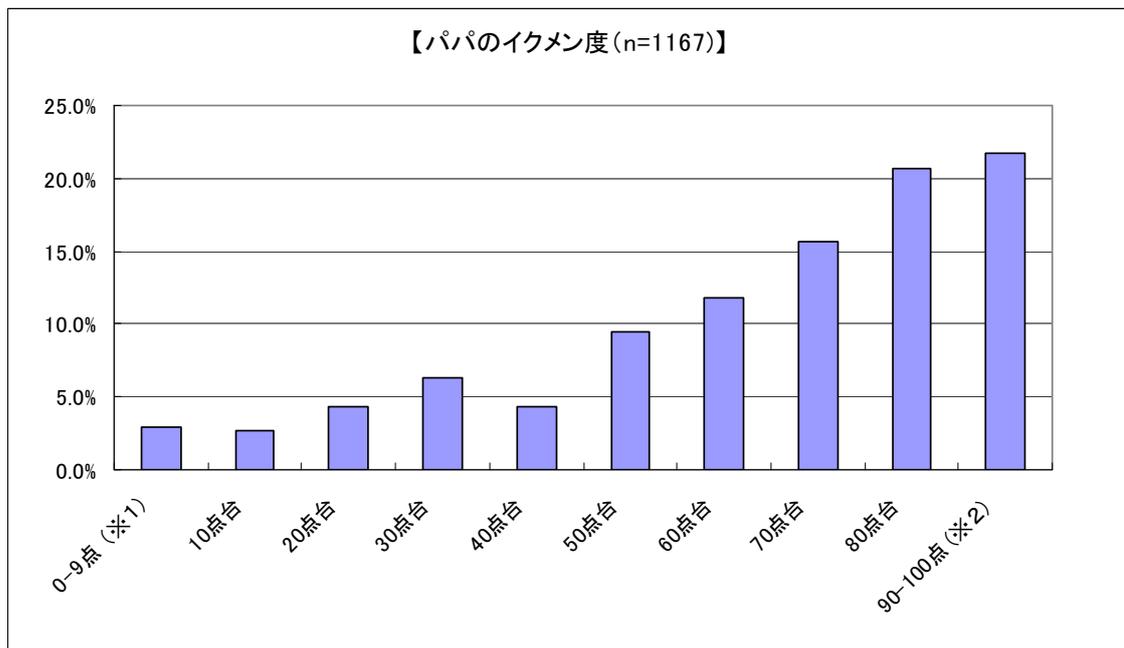
最近、メディアによく登場する「イクメン」という言葉。ママたちにこの言葉がどのくらい知られているのか尋ねたところ、全体の平均で88%という結果になりました。ただし年代別で認知に差があり、もっとも高かったのは30代後半ママ、もっとも低かったのは20代前半ママでした。30代後半ママのパパの育児参加への関心の高さを感じさせます。



■自分の夫のイクメン度を判定！

自分の夫の「イクメン度」に点数をつけてもらったところ、70点以上をつけた人が全体の58%、平均点は66点という結果になりました。

自分の夫の「イクメン度」に点数をつけてもらったところ、70点以上をつけたママが6割近くになりました。ただし、平均点にすると66点となり、高得点層、低得点層に分かれることがわかります。パパの年代別の平均点ではあまり差がないため、パパのイクメン度とパパの年齢はあまり関係ないようです。



※1 0点・・・1.5%

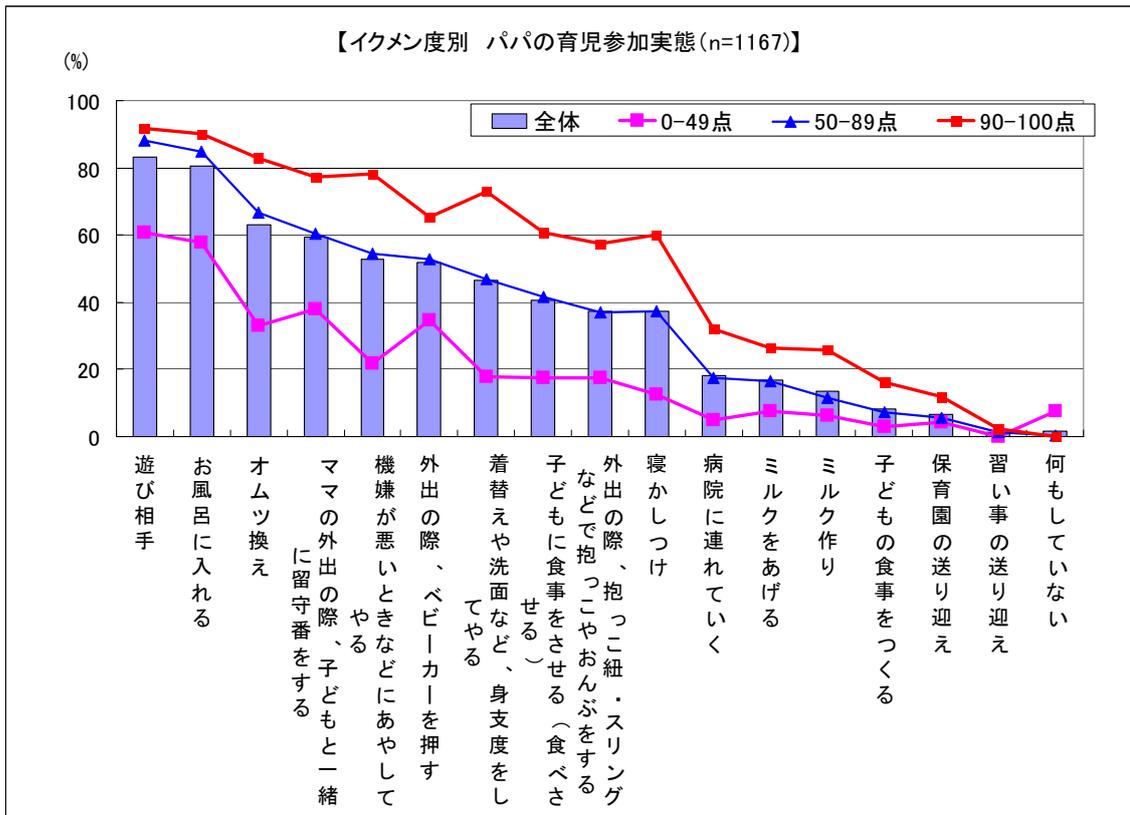
※2 100点・・・7.7%

- パパの年齢別平均点
 - 20代 68.3点
 - 30代 64.6点
 - 40代以上 65.7点

■ イクメン度別にみたパパの育児参加実態

「イクメン度」点数別に、育児参加の実態を聞いてみました。イクメン度評価が高いパパほどオムツ換えや子どもの身支度、寝かしつけなどの「普段のお世話」をしていることがわかります。

育児参加度の高さ別(イクメン度別)で、パパの育児参加項目を見てみると、イクメン度の高いパパ(イクメン度90点以上)は子供の機嫌が悪いときにあやしたり、着替えなどの身支度、寝かしつけなど、ママがいままでやってきた「普段のお世話」をしていることがわかります。イクメン度向上は「普段のお世話」がどのくらいできるかにかかっているようです。



以上

●この件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

株式会社大広 総務局広報部 遠藤、長谷川

TEL : 03-6364-8601